

編集後記

看図アプローチに関心はあるけれど「ビジュアルテキストの見つけ方が難しい」「発問のつくり方が分からない」。このように考えている先生方は多いのではないのでしょうか。前田敏和・溝上広樹の第1論文は、そのような先生方にたくさんのヒントを与えてくれると思います。ぜひ読んでいただきたい好論文です。お読みいただければ、あの苦手だった「化学」が好きになります。それほど素晴らしい看図アプローチ授業実践です。

石田ゆきによる第2論文も面白い取り組みです。石田は、森 寛が中学校で行った看図作文授業の追実践を、大学授業の中で試みています。もともと授業上手の石田が、看図作文授業実践数日本一である森の授業を追実践するのですから、上手くいったあたり前と言えはあたり前です。しかし、看図作文・看図アプローチだからこそ、追実践によっても様々な教育効果が認められるのだと思います。

石田論文のもうひとつの特徴は、26編もの看図作文を紹介できていることです。看図作文の授業をすると、ほんとうに素晴らしい作文が数多く生まれてきます。この「すごさ」を伝えるためには、「すごい」作文をたくさん紹介するのもひとつの方法だと思います。今回は、本誌が電子ジャーナルだという特徴を活かして、数多くの作文を紹介できています。素晴らしい作文を書ってくれた学生さんたちも「すごい」のですが、作文をひとつひとつ読んでいただけたら、看図作文の「すごさ」も実感できると思います。

仲村 彩・山下雅佳実による第3論文も追実践を含んでいます。もともになっているのは、看図アプローチ授業のモデルをたくさん生み出している山下雅佳実の実践です。これを「看図アプローチはじめて」の仲村が追実践しています。もちろん、仲村自身も納得がいく追実践になっています。

看図アプローチは少しアレンジするだけで様々な授業に活用できます。これまで本誌に発表されてきた数々の実践の追実践も試みてください。実践されたら、論文にまとめてご投稿ください。追実践論文も大歓迎です

文責 鹿内信善

—— 全国看図アプローチ研究会研究誌 15 号 ——

発行年月日 2022 年 11 月 11 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員

石田 ゆき

伊藤 公紀

鹿内 信善*

山下雅佳実

渡辺 聡

(* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会

kanzu-approach.com



事務局 長 山下雅佳実 (中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき